

お客様 各位

作成 2020年6月1日

改定 2020年6月18日

株式会社クリーンテック

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

多数お問い合わせいただいている件について

当社は2008年より、12年以上に渡りプロトクリン・アクア（微酸性次亜塩素水溶液）を製造販売しており、その間、健康被害等の安全性に関する苦情はなく、老人保健施設及び保育施設等においてご好評を頂いております。

■ プロトクリン・アクアについて

一部、他社商品では次亜塩素水という名前であるものの、PH、濃度、製法等が不明な商品もありますが、当社商品は製法、PH、濃度などの必要な情報は明示させて頂いており、用法容量を守り適切にご利用いただければ、安全な商品と考えております。

製法：二液混合方式 原材料：次亜塩素酸ナトリウム 希塩酸（pH調整剤） 水
pH：弱酸性 pH5.5～6.0（製造時） 有効塩素濃度：200ppm（製造時） 使用期限：製造日より6カ月以内を推奨

■ プロトクリン・アクアの有効性について

当社のプロトクリン・アクアは、ウイルス不活性化効果の検証を行っており、インフルエンザウイルス、ネコカリシウイルス（ノロウイルス代替え）、大腸菌、レジオネラ菌、緑膿菌、サルモネラ菌、MRSAについての効果を確認しております。なお新型コロナウイルスについては、直接的な試験は実施出来ておりませんが、新型コロナウイルスはインフルエンザウイルスと同様にエンベロープウイルスに属しており、厚生労働省も通常のインフルエンザウイルスと同じ対策を推奨しています。

■ 空間噴霧について

当社内での実験結果ではありますが、プロトクリン・アクアは原液200ppmでの空間噴霧試験においても塩素ガス濃度が日本産業衛生協会の定める0.5ppmを常に下回り、原液噴霧においても許容範囲内であることを確認しています。空間噴霧は、原液10倍希釈である20ppmを推奨していることから、さらに安全性が高いと考えております。

■ 空間除菌の有効性について

当社内での実験結果ではありますが、空間噴霧により菌数が減少する結果が出ており、除菌効果はあるものと考えております。

検証結果については現在、行政の定める検証試験方法が確立されておらず、自社基準での試験となっている項目もあります。当社では引き続き安全性・有効性の確保のために各種検証試験などに取り組み、皆様にご安心して使用いただける製品となるように取り組んでまいります。